

だっぼう 脱法ドラッグって何ですか？

ねらい

だっぼう
脱法ドラッグ等の薬物の危険性や、インターネットの普及で身近に忍び寄っている怖さについて理解させます。

活動内容

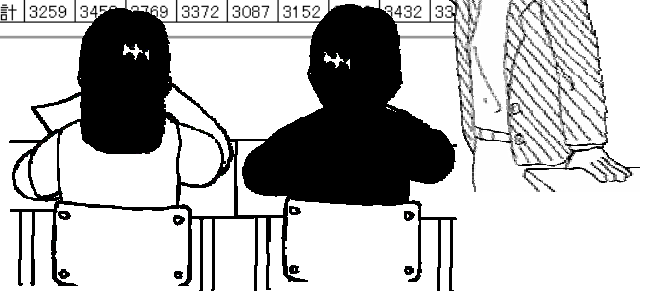
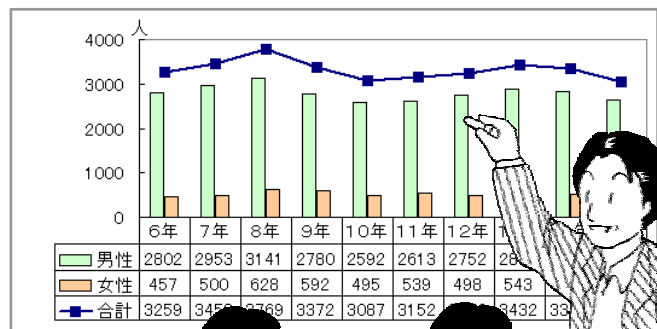
アンケート
Web 教材
ビデオ教材
グループ協議

準備するもの

筆記用具
アンケート
ワークシート

実施する時間

学級活動
ホームルーム活動
保健などの関連する教材を扱う授業



指導のポイント

アロマや芳香剤として販売されているものの中には、薬物と同じ症状が現れ、身体にとっても危険なものがあることを理解させる。

Web 教材やビデオ教材を使って、薬物の怖さを実感させる。

脱法ドラッグや合法ドラッグは身近に存在し、友達に誘われたり興味本位で始めてしまうおそれが高く、とても危険であることを理解させる。

指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
インストラクション 「脱法ドラッグって何ですか？」の活動の流れを示す。	2分	活動の趣旨を理解させる。
エクササイズ 脱法ドラッグに関する簡単なアンケートを実施する。	5分	配付資料10(ワークシート)「脱法ドラッグに関するアンケート」
エクササイズ 誘う役、誘われる役に分かれてロールプレイを行う。 シチュエーションをいろいろ変えてみる。 いくつかのペアで実施する。	30分	場合によっては教師が誘う役を演じる。その場合は、圧力をかけすぎないように注意する。 <問いかけ例> 「やせる薬あるんだけどどう？」 「気持ちよくなるよ」 「俺も使っているけど、こんなに元気だぜ」 「合法ドラッグだから大丈夫だよ」 「先輩の言うことが聞けないのかよ！」
シェアリング 誘う役、誘われる役それぞれの感想を発表する。	20分	各グループの考えをみんなで共有することが大切であることを理解させる。

アンケートの質問項目は、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課でまとめた「薬物に対する意識等調査報告書」(平成14年3月)(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/14/06/020605.htm)を参考にしています。

指導展開のアレンジ例

1. ビデオ視聴を取り入れる場合

エクササイズで、ロールプレイをさせる代わりに、薬物乱用啓発ビデオを視聴させる。

薬物乱用啓発ビデオについては、東京都福祉保険局のページに一覧としてまとめてあります。(<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/minamitama/kikaku/pdf/bideo.pdf>)

ビデオ視聴後、何人かに感想を述べさせて、配付資料11(ワークシート)「薬物の恐ろしさ」を使って、薬物の恐ろしさを再確認させるとともに、薬物に関する事件や事故を防ぐために大切なことを考えさせる。

2. クイズを取り入れる場合

エクササイズで、ロールプレイをさせる代わりに、配付資料12(ワークシート)「薬物クイズ」をやらせる。

クイズの後、以下のホームページなどにシミュレーションや解説が掲載されているので、それを使って解説してもよい。

薬物乱用防止教育(日本学校保健会)ホームページ
(<http://www.hokenkai.or.jp/3/3-1/3-1.html>)

薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」(麻薬・覚せい剤乱用防止センター)ホームページ
(<http://www.dapc.or.jp/index.htm>)